

表彰年度	表彰団体又は個人	活動内容
令和4年度	横手市立増田中学校	平成25年より毎年、横手市社会福祉協議会増田福祉センターと連携し、学校の部活動単位で地域の除雪ボランティアを行っている。ひとり暮らしの高齢世帯や、自力での除雪が困難な世帯を対象に、家屋周辺の除雪作業を実施し、冬季における安全な生活の確保に尽力しており、地域の課題解決に貢献している。
令和2年度	植田神木会	昭和51年に地域青年会として結成され、植田地域の行事を牽引しており、昭和59年からは、冬の行事としてどんど焼き（神事用廃物品焼却）を行う日（2月中旬）にあわせて、横手市立植田小学校のグラウンドを会場に「植田童っこの雪まつり」を開催している。雪国ならではの雪を楽しむ遊びを伝承し、地域の子どもから高齢者まで参加するお祭りとなっており、地域活性化の一役を担っている。
令和元年度	選定なし	
平成30年度	横手市共助組織連合会	共助の支え合い活動を行なっている市内10団体により組織され、相互の活動についての情報交換などを行ないながら、地域の課題は地域の手で解決していく仕組みを構築。雪下ろしや雪よせの支援など、地域に必要とされるサービスの提供を通して、雪と共生共存するまちづくりに寄与されている。
平成29年度	選定なし	
平成28年度	選定なし	
平成27年度	選定なし	
平成26年度	筏区	平成9年頃から小学校跡地で雪まつりを実施している。雪山の滑り台や雪中ゲートボールなど、子供から老人まで楽しめるイベントを企画。なかでも、やかんをつかった「や・カーリング」大会は、地域独自の遊びで年々人気を博し、新聞でも紹介されるなど、大勢の地域住民が楽しんでいる。婦人会手作りのお餅や豚汁も振る舞い、地域への愛着と雪への親しみの笑い声の絶えない冬のイベントとして定着している。
	相野々区	平成8年から「雪中運動会」を開催している。子どもから高齢者向けの雪を活用したプログラムや雪国での行事を取り入れ、雪を楽しむ親しむ機会とするとともに、終了後は全体の交流会を開催し、地域住民の融和を図っている。
平成25年度	選定なし	
平成24年度	北嶋 勝雄	かまくら職人として31年の活動実績と、65歳を迎えた当時なお現役で活躍している。また、子どもたちをはじめとする地域住民に、伝統ある雪国文化、かまくら文化を継承し、地域の発展に貢献していることなどの功績が評価された。
	上田村雪祭り実行委員会	昭和57年から毎年2月第2日曜日に雪祭りを開催している。平成24年の冬で31回目を数えた。雪を利用したイベントを企画し、終了後は地域の集会所で交流会を開催して地域住民の融和を図っていることも評価された。
平成23年度	選定なし	
平成22年度	増田小学校児童	子どもたちの体験学習の一環として増田の冬の伝統行事「梵天まつり」に全校児童で参加し、地域の大人たち（梵天先生）の力を借りながら毎年大小12本の梵天を繰り出し、若い熱気で地域に元気を与える源を作り出していることが評価。
	南郷自治会	雪を通じてかつての賑わいを取り戻そうと、保育所から老人クラブまで、地域住民全員参加の「雪中運動会」を毎年実施しており、前夜祭では紙風船を打ち上げるなど、多彩な催しを通して地域住民の冬の楽しみを創出していることが評価。

表彰年度	表彰団体又は個人	活動内容
平成21年度	選定なし	
平成20年度	小田嶋 慶一	「かまくら」作りの名人。かまくら職人としての30年の活動実績と、70歳を迎える今なお現役として、後進や子供たちへ雪国文化を継承する、親雪の第一人者。
	狛半内地域センター 運営協議会	除雪後の雪を活用した「元祖さるはんない幻灯」という独創的なイベントを開催し、市民及び地域住民が雪に親しみ、融和を図る機会を創出した功績。
	沼下町内会	「子供たちの心に残るふるさとを」を合言葉に、今年度で30年目となる町内雪まつりの開催を通じて育んできた町民意識の醸成、途絶えることなく続いてきた活動実績が評価。
	清川町子ども会	地域独自に考案したミニかまくら作成方法を町内全戸に周知し、幼児から高齢者に至るまでミニかまくらづくりを楽しむなど、雪に親しみやすい地域性を醸成したことが評価。
平成19年度	麓友会	市民・事業所が一体となり地域の交流を進める行事（雪中運動会）を実施し、魅力ある雪国の暮らしの創造に貢献。
	明道塾	かんじきを履き、雪の中を走るという独創的なイベント「かんじきマラソン」を実施し、雪に親しむ暮らしづくりに貢献。
平成18年度	選定なし	
平成17年度	選定なし	
平成16年度	市立横手南小学校	雪まつりの時期に合わせ、全校をあげての校庭へのミニかまくらの作成や、会場でのお客様のおもてなしなど、雪に親しむ環境を作り続けた功績。
	雪の華会	平成3年から男性55歳以上、女性50歳以上の方々を対象に、冬のアウトドアスポーツを楽しむ活動を実施するなど、雪に親しむ市民性の醸成に寄与。
	横手市除雪ボランティア グループ	高齢者や障がい者の除雪をボランティアで実施するなど、生活弱者の冬期間における生活安全の確保に尽力。
	県立横手工業高等学校 バドミントン部	除雪ボランティアグループ設立当初から部員全員が加入。部活動の一環として、高齢者や障がい者の除雪を実施し、生活弱者の冬期間における生活安全の確保に尽力。現在は清陵学院高校バドミントン部が引継ぎ活動中。
平成15年度	市立鳳中学校	雪まつり会場へのミニかまくら作成や、会場でのお客様のおもてなしなど、長年にわたり、雪に親しむ環境を作り続けた功績。
	小田嶋 慶一（辞退）	「かまくら」作りの名人。
平成14年度	横手青年会議所	雪まつりの時期に合わせ、「一戸かまくら」を提唱し、ミニかまくら作りを全市に広めた功績。
	藤谷 芳蔵	「かまくら」作りの第一人者、名人。